

岐阜大学国際交流 ニューズレター

Newsletter of International Exchange, Gifu University

No.37
2012年3月

新規大学間学術交流協定大学



◀ 内モンゴ師範大学(中国)

2011年6月8日学術交流協定締結。内蒙古自治区の首府であるフフホトに位置し、上級レベルでの教育をさまざまな科目において行っている。中国の教育委員会から留学生の受け入れの許可を得ている大学の1つであり、海外の専門家や教師陣が内モンゴ師範大学において授業を行っている。



◀ ヴィータタス・マグヌス大学(リトアニア)

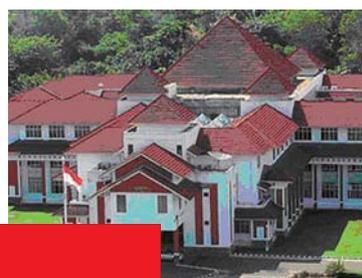
2012年1月19日学術交流協定締結。1922年に設立された、多文化、多言語教育を特長とする国立大学である。講義は英語をはじめ、ドイツ語、フランス語など25の異なる言語により行われている。外国語学部には日本語学科もあり、東アジア地域への関心が高い大学である。

新規部局間学術交流協定大学



◀ アルバータ大学(カナダ)

2011年6月30日に同学の理学部と本学の応用生物科学部との間に学術交流協定締結。アルバータ州の州都エドモントンにあるカナダ有数の総合大学である。世界の大学ランキングTop100に選ばれており、教育・研究の質が高い。世界各国から多くの留学生を受け入れており、日本の協定大学の多くが同大学で訪問型の英語教育を実施している。



◀ ベングル大学(インドネシア)

2011年7月20日に、同学の数学自然科学部と本学の工学部との間に学術交流協定締結。1982年に設立されたインドネシアのスマトラ島の南西部に位置するベングル市唯一の国立大学である。同国の50の有望大学のひとつに選ばれ、同国の高等教育総局による多くの政府レベルのプロジェクトを遂行している。

～本学の国際化を進めるために～

本学は、「豊かな教養と確かな専門的知識・技能、広い視野と総合的な判断力、優れたコミュニケーション能力に加え、自立性と国際性を備えた高度な専門職業人を幅広い分野で養成し、社会に輩出する」ことを目標のひとつとして掲げている。そのため、本学の「教育と研究の特性を生かした大学の国際化を推進し、学生や教職員の国際的通用性を高め、地域社会の活性化に貢献」していくための戦略(国際化基本戦略)を次のように掲げている。

1. 教育・研究の国際化を進める。

海外の大学との連携・協働による教育・研究の活性化を進める。

- 学術協定校との活発な交流を図る。
- 拠点地域を想定した国際交流を進める。
学生への海外留学を積極的に進め、国際的な視野を有する学生を育成する。
- 様々な「留学」の機会を設ける。
- 留学説明会を充実する。

2. 外国人留学生支援の充実を図る。

各学部・研究科との連携により、留学生受け入れ体制の整備を図る。

- ツィニングプログラム、ダブルディグリープログラム等を積極的に進める。
- 留学生受け入れのための入試方法の改善に努める。
海外オフィス等の活用により、岐阜大学の教育・研究情報を発信する。
- 大学情報、地域情報の収集・広報の拠点としての機能を充実する。
留学生OBの社会的活動やOB会活動を支援する。
- 国・地域ごとの同窓会の組織化を促進する。

3. キャンパスの国際化を進める。

学生・教職員の国際意識の高揚を図る。

- English Lounge、異文化交流、国際化週間等を実施する。
- 学内外で開催される外国人による講演会情報を積極的に収集し、学生・教職員に周知する。

From International Students



地域科学部
特別聴講学生
宋 美知
ソン ミジ(韓国)

「新しい絆作りの日々」

振り返ってみたら、日本で留学すると思ったきっかけは小さいことでした。高校のとき第2外国語で日本語を勉強したので、3年前に軽い気持ちで福岡への一人旅に出かけました。日本人と話したら良いなと思いながら旅立ちましたが、思い通りに言葉が出てなく心残りのある旅行になりました。旅行の帰りに偶然に見つけたのが岐阜大学への交換留学プログラムでした。今度こそ後悔を残せずに思い切り日本人との交流をしてみたいと思いながら留学を準備しました。

そのように留学を準備していたときに日本には東日本大震災と言う惨事が起こりました。大震災により多くの被害を受けた方々を悼む一方、自分の留学も心配でした。悩みながらちゃんとした準備もできずにそそくさと来た留学でしたが、今は留学して良かったと思っています。

留学する前に日本へ旅行したことは何回かありましたが、「岐阜」はその地名さえ留学の面接のときに初めて分かったぐらいの、初耳の所でした。しかし、実際に来てみると知られていないことに比べ、かなり魅力的な所だということが分かりました。高山、

下呂、郡上、白川郷など岐阜の有名な観光地をほとんど回ってみましたが、京都などの外国人にも有名な観光地より静かでゆったりしていて自分が想像していた昔日本の景色を味わうことができました。また、留学中に鵜飼、餅つきなどを体験し、自分の国と似ていながら違う文化を体験することができてそれも貴重な思い出になりました。

日本に来る前に自分で決めた目標は主に語学や専門勉強の向上でした。しかし実際に日本に来て、自分で思ったより大きなものを手に入れました。それは「人との縁」ということです。私にとって日本での生活はいつも新しい絆作りの日々でした。それぞれ違う文化が会いお互いの違う所を尊重しながら交流する方法を学んだ国際会館の人々との絆、そしていろいろな面で足りなかった自分を配慮し、導いてくれた日本の友達や先生。この全てが私には日本で見つけた最も大切な宝物です。

何で楽しい時間はあっという間なんでしょう。もうすぐ留学が終わり、国に帰ることになります。しかし、私が留学を通じて得た最も大切な結果のこの「絆」をいつまでも持ち続けていきたいと思えます。(原文のまま)



工学研究科博士後期課程
環境エネルギーシステム専攻2年
カンダカルエムディ ハビブアルラジ
KHANDAKAR MD HABIB AL RAZI(バングラデシュ)

「岐阜大学の皆様に感謝します」

私は子供の頃から物作りが好きで、ゴミからおもちゃを作っていた。そんな趣味が高じて、高校生になるまでずっと環境システムの勉強をしたいと思っていた。高校では、バングラデシュで環境汚染の問題を勉強した。高校二年生のとき、どこに進学しようかと思い悩んでいると、ちょうど日本の大学院で勉強していた、いところ日本の環境システムの発展や日本のことをたくさん教えてくれた。私は、いとこの話を聞いて、バングラデシュより環境システムの発展している日本への興味が湧き、留学することを決意した。そして、日本の文化と伝統に興味もあったので、日本は私のビジョンにおいて夢の国になった。私は、より高度な専門性に精通した技術者になるために日本に来た。革新的な技術力を誇る日本は、高度な教育を受けられるだけでなく研究に取り組むためのすばらしい環境が整っている。私が所属する岐阜大学の環境エネルギーシステム専攻は、優秀な環境技術の専門家が数多く所属しており、多くの刺激を得ることの出来るすばらしい環境である。このような優れた環境で、イノベーションを起こすために岐阜大学に来た。

この留学中に学んだ日本の優れた環境に対する考え方や実践方法を参考にして、産業化が進むことで与える地球環境への影響を防ぐプロジェクトに取り組み、汚染の無い地球を創造して、次世代の子供に安全で豊かな地球を残したい。そのために、私は母国での国連プログラムで働き、大気汚染のシミュレーションを通じて環境汚染を防ぐことで、特に南アジアと東アジアの国々の架け橋になりたい。そして、最終的には、日本の文化、国際性、教育そして技術力を改革する礎になりたいと考えている。

今年で、日本での私の生活は6年目になる。私は岐阜大学で修士課程を修了し、1年以内には博士課程を修了するつもりだ。私は私の大学生活をとおして先生方とスタッフの皆様にもいつもお世話になっている。私の夢を支援してくださる岐阜大学には大変感謝しています。(原文のまま)



International Events

異文化交流 国際戦略本部では、学生、教職員の国際化を図るため、異文化交流を以下のとおり実施しました。

異文化交流④ 日本初の国際ビジネスマン音吉

10月12日(水)、全学共通教育棟において、音吉顕彰会会長の齋藤宏一氏により、日本初の国際ビジネスマンとなった音吉の数奇な人生が、齋藤氏自身の音吉軌跡の旅とともに紹介されました。

1年2か月もの間、漂流という極限状態に置かれながらも生き残り、その若さと体力、強い精神力により、言葉や宗教、風習の違いを乗り越え世界を渡り歩いた音吉。幕府の鎖国政策により、祖国の土を二度と踏むことが許されなくとも他の邦人漂流民の帰還に尽力した音吉。卓越した英語力から日英和親条約締結時の通訳として活躍した国際ビジネスマンとして多くの人々に敬われ、愛された音吉。こうした音吉の波乱万丈の人生が齋藤氏の軽妙な語り口を通して紹介され、集まった参加者にとっては「真の国際化とは」を再考する機会となりました。



音吉顕彰会会長 齋藤宏一氏



邦楽部の吉田慶太君と清水隆宏君

異文化交流⑤ 日本の伝統音楽

1月25日(水)、柳戸会館において、岐阜大学邦楽部の吉田慶太さん、清水隆宏さん及びその師である西村虎吼氏による尺八、三味線の演奏が披露されました。馴染み深いわらべ歌から古典曲、ポップミュージックまで、時には独奏で、時には合奏で演奏され、参加者はその美しい音色に静かに耳を傾けました。また、虚無僧による尺八は、演奏のみならずその独特な雰囲気が大いに参加者を魅了しました。

途中、尺八体験の時間が設けられ、参加者は尺八に触れたり、音を出す機会に恵まれました。また、曲と曲の間には楽器や曲紹介が行われ、集まった約30名の参加者は、日本の伝統音楽や文化に対する理解をより一層深めることができました。

教員研修留学生グループが国際交流賞を受賞

本学のパキスタン、ラオス、タイ、イエメン出身の4名の教員研修留学生グループが、第15回フラッグアート展「2011 in Gifu」において、本年度新しく設けられた「国際交流展」に作品を出品し、「国際交流賞」に選ばれました。

10月6日、廣田副学長(国際戦略担当)とともに学長室を訪れ、森学長に受賞の報告をし、学長から「出身国の異なる留学生が協力して作り上げた作品が、評価されたことは素晴らしい」との祝福の言葉とご褒美が贈られました。

この作品に対して審査員からは、「『頑張ろう!日本』のメッセージが伝わる力強い構図である」「製作グループの出身国である4つの国と日本との協調と協力がうまく表現されている」「昔の日本を思い出すような懐かしい雰囲気がある」と講評をいただきました。



国際交流賞受賞作品



学長への受賞報告

第2回 English Lounge ポットラックパーティー

English Loungeのイベントとしてポットラックパーティーが、2011年12月22日(木)に開催されました。ポットラックパーティーとは、参加者が料理等を持ち寄って行うパーティーのことであり、昨年に引き続き2回目の開催です。各自自慢の手料理等を持ち寄り、お互いの国や文化等について英語で語り合い、交流を深めました。

今回は、ラッフルくじ(寄付金集めの福引)により、約50名の参加者から10,000円が集まり、日本赤十字社の東日本大震災義援金に寄付されました。また、学生による尺八演奏やゲーム等がパーティーを盛り上げました。



パーティーの様子



みんなで記念撮影

国際交流事業にご協力いただいた団体(2009～2011年)

財団法人味の素奨学会
イビデン株式会社
財団法人井上国際交流基金
エイト工業株式会社
株式会社エヌテック
株式会社大垣共立銀行
河合石灰工業株式会社
財団法人岐阜県環境管理技術センター
財団法人岐阜県国際交流センター
岐阜県国際交流団体協議会
岐阜市青年団OB会
岐阜市役所観光商工部
岐阜車体工業株式会社
岐阜信用金庫
岐阜ゾンタクラブ
岐阜長良川ユネスコ協会
岐阜西ロータリークラブ
岐阜乗合自動車株式会社
岐阜東ロータリークラブ
岐阜南ライオンズクラブ
郡上八幡国際友好協会

財団法人交流協会
国際交流の輪の黒野
国際ソロプチミスト岐阜
財団法人国際調和クラブ
サンメッセ株式会社
株式会社十六銀行
株式会社スギヤマメカレトロ
西濃華陽観光バス株式会社
大日コンサルタント株式会社
太平洋工業株式会社
財団法人田口福寿会
財団法人朝鮮奨学会
東邦ガス株式会社岐阜営業所
北方自動車学校
ハートランス株式会社
財団法人服部国際奨学財団
財団法人平和中島財団
三田洞自動車学校
三菱商事株式会社
NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
財団法人ロータリー米山記念奨学会

本学の国際交流は、上記の企業・団体からのご寄附及びご協力により実施されております。(50音順、敬称略)

留学生参加の国際交流活動に協力する地域団体(順不同)

NPO法人国際文化友好協会、一宮市国際交流協会、JAPAN TENT開催委員会、富加の青少年を育てる会、廿日市市国際交流協会、大野きょうだい会、せびあ会、グレッター・ナゴヤ・イニシアティブ・センター、三宅北子供会、サン・フラワー華陽、岐阜市立城西小学校、北方町立北方西小学校、下呂市立竹原中学校、岐阜市立岩野田北小学校、瑞穂市立南小学校、岐阜県立岐山高校、中部学院大学・中部学院短期大学部附属幼稚園

岐阜大学基金(国際交流事業)のご協力とお願い

岐阜大学における国際交流を充実・発展させるために、岐阜大学基金(国際交流事業)へのご寄附をお願いいたします。寄附申込書を以下の【岐阜大学基金HP】から入手いただき、寄附目的の欄のその他にチェックを入れ、「国際交流事業」と記入いただきますと、本学の国際交流事業への寄附金として取り扱われます。主な国際交流事業として、私費外国人留学生学資援助金、研究者交流助成、短期留学(派遣)奨学金、異文化交流等を行っております。

【岐阜大学基金HP】<http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=1012>

本学への寄附金は、所得税法第78条第2項第2号及び法人税法第37条第3項第2号に基づき、財務大臣が指定した寄附金(昭和40年4月30日大蔵省告示154号)に該当するもので、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金または法人税法上金額損金算入を認められる指定寄附金として指定されています。また、相続、遺贈により財産を取得し、申告期限までに本学に寄附された場合は、租税特別措置法第70条第1項により、相続税は非課税になっています。

編集:岐阜大学国際戦略本部

事務局 学術国際部国際企画課

TEL: 058-293-3353/ 3350 FAX: 058-293-3209 E-mail: int_exch@gifu-u.ac.jp

国際企画課(留学生支援室)

TEL: 058-293-2139/ 2137 FAX: 058-293-2143 E-mail: idirecent@gifu-u.ac.jp

本誌は、岐阜大学ホームページ上で公開しています。

岐阜大学国際交流ニュースレターURL <http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?nd=250&cd=257>

留学生支援室は、
図書館1階に移転
しました。